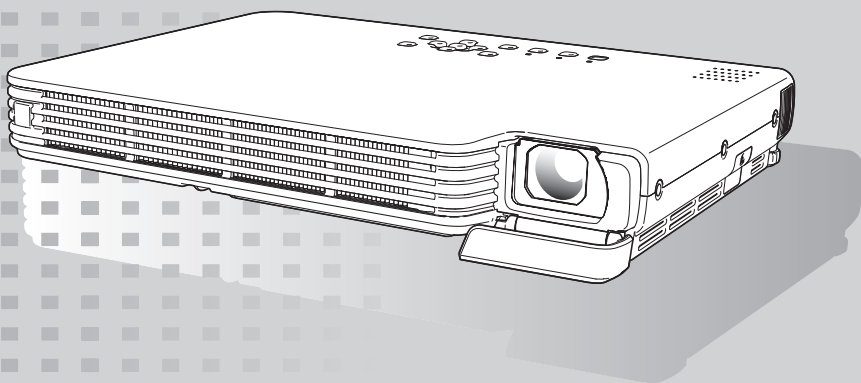
J Z

DATA PROJECTOR
XJ-S31/XJ-S36
XJ-S41/XJ-S46

データプロジェクター

取扱説明書（応用編）

- 必ず別冊の取扱説明書（基本編）の注意事項をお読みになってからご使用ください。また、本機の設置方法やランプ交換方法に関しても、取扱説明書（基本編）を参照してください。
- 本書はお読みになった後も大切に保管してください。

CASIO®

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本製品使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理などに起因するデータの消失による、損害および逸失利益などにつきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に使用されている表示画面は、取扱説明書用に特別に作成されたもので、一部、実際の製品と異なることがあります。

目次

この取扱説明書について

- 本書は、別冊の「取扱説明書(基本編)」の説明に従って本機ですでに投映を行っている状態を前提に、説明しています。
- この取扱説明書で説明しているキー操作は、本機に付属のリモコンを使って行います。[MENU], [▲], [▼], [▶], [◀], [ENTER], [ESC], [⏻], [INPUT], [AUTO], [ZOOM ＋], [ZOOM －], [FOCUS ▲], [FOCUS ▼]の各キーの操作は、プロジェクター本体のキーも使うことができます。

リモコンのキー	プロジェクター本体のキー
[ENTER]	カーソルキーの中央にあるキーです。
[ZOOM ＋], [ZOOM －]	[ZOOM]と[◀][▶]キーで操作します。
[FOCUS ▲], [FOCUS ▼]	[FOCUS]と[▲][▼]キーで操作します。

XJ-S36/XJ-S46をお使いのお客さまへ

本書は、XJ-S36/XJ-S46のUSB端子に何も接続していないときの操作や動作について説明しています。XJ-S36/XJ-S46のUSB端子に外部機器を接続して行うことができる各種の操作については、付属のCD-ROMに収録されている「USB拡張機能ガイド」を参照してください。

投映中の応用操作

本機での投映中に実行することができる各種の応用操作について説明します。

投映中の映像に対する各種の操作

投映中の映像に対して、次の操作を行うことができます。

- 映像の明るさを調節する
- 映像に適した色調（カラーモード）を選ぶ
- 映像の一部を拡大する
- 入力ソースからの映像を一時的に遮断して、代わりにブラック画面、ブルー画面、またはロゴ画面を投映する
- 映像を静止させる
- 投映画面上にポインターを表示する
- 投映画面の縦横比（アスペクト比）を4:3と16:9の間で切り替える

映像の明るさを調節する

メモ

（XJ-S36/XJ-S46をご使用の方へ）

USB端子に外部機器を接続しているときは、明るさの調節は設定メニュー（11ページ）を使って調節してください。

1 [BRIGHT]キーを押す。

- 明るさの設定画面が表示されます。

2 [◀]または[▶]キーを押して明るさを調節する。

3 設定画面を消すには、[ESC]キーを押す。

映像に適した色調（カラーモード）を選ぶ

投映する内容や環境に応じて、5種類の「カラーモード」の中から適したものを選ぶことができます。

メモ

（XJ-S36/XJ-S46をご使用の方へ）

USB端子に外部機器を接続しているときは、カラーモードは設定メニュー（11ページ）を使って選択してください。

カラーモードを選ぶには

1 **[COLOR MODE]キーを押す。**

- カラーモードの設定画面が表示されます。◉印付きの項目は、現在のカラーモードを表します。

2 **[▼]または[▲]キーを押して希望する選択肢を反転表示させ、[ENTER]キーを押す。**

- 反転表示させた選択肢に◉印が移動します。
- 各選択肢の意味については、「映像調整メインメニュー内の項目」の「カラーモード」(18ページ)を参照してください。

3 **設定画面を消すには、[ESC]キーを押す。**

投映中の映像の一部を拡大する

1 **[D-ZOOM＋]キーまたは[D-ZOOM－]キーを押す。**

- 投映画面に✚が表示されます。

2 **[▼] [▲] [▶] [◀]を使って、拡大したい位置の中心点に✚を移動する。**

3 **[D-ZOOM＋]キーを押す(または押し続ける)。**

- [D-ZOOM＋]キーを押すたびに拡大率が上がります。キーを押し続けると、連続的に拡大率が上がります。
- 拡大中は、[D-ZOOM－]キーを押すたびに拡大率が下がります。キーを押し続けると、連続的に拡大率が下がります。
- 拡大中は、[▼] [▲] [▶] [◀]を使って映像を上下左右にスクロールすることができます。

4 **拡大表示をやめるには、[ESC]キーを押す。**

入力ソースからの映像を一時的に遮断する

1 **[BLANK]キーを押す。**

- 入力ソースからの映像が遮断され、代わりにブラック画面が投映されます。

2 **入力ソースからの映像を再び投映するには、[BLANK]キー(または[ESC]キー)を押す。**

メモ

代わりに投映する映像としては、ブラック画面、ブルー画面、またはロゴ画面のいずれかを選択することができます。「画面設定メインメニュー内の項目」の「ブランク時画面」(21ページ)を参照してください。

映像を静止させる

[FREEZE]キーを押したときに投映していた映像を、静止画として表示することができます。

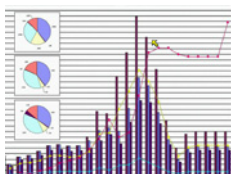
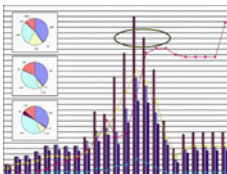
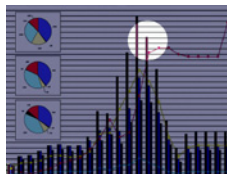
投映中の映像を静止させるには

1 **入力ソースからの映像の投映中に[FREEZE]キーを押す。**

- キーを押した時点で投映されていた映像が、静止画として本機のメモリーに取り込まれ、投映されます。

2 **入力ソースからの映像に復帰するには[ESC]キーを押す。**

投映画面上にポインターを表示する

投映画面上に矢印やバーなど8種類の「ポインター」を表示することができます。プレゼンテーション中に画面上の特定位置を強調したい場合などに役立ちます。

「矢印1」

「サークル1」

「スポット2」

メモ

台形補正を行っている場合、ポインターの種類によっては正しく表示されないことがあります。このような場合は[KEYSTONE　+]または[KEYSTONE　−]キーを使って、台形補正値をゼロにしてください。

ポインターを表示して利用するには

1 **[POINTER]キーを押す。**

- ポインターが、投映画面の中央に表示されます。
- [POINTER]キーを押したときに最初に表示されるポインターの種類は、設定メニューで選ぶこともできます。「機器設定2メインメニュー内の項目」の「ポインター」（25ページ）を参照してください。

2 **カーソルキーを使って希望の位置にポインターを移動する。**

- カーソルキーを押すと、押したキーの方向にポインターが移動します。
- １つのカーソルキーを押したままにすると、ポインターは連続的に移動します。

3 **ポインターに変化を付けるには、[STYLE]キーを押す。**

● [STYLE]キーを押すたびに、ポインターが次のように変化します。

ポインターの種類	[STYLE]キーを押したときの変化
矢印1／矢印2	矢印の向きが90度回転
バー1／バー2	点滅状態と点灯状態の間で切り替わる
サークル1／サークル2	点滅状態と点灯状態の間で切り替わる
スポット1／スポット2	スポット周辺の映像の暗さ(透過率)が2段階で変化

ポインターの種類を切り替えるには

1 **[POINTER]キーを押してポインターを表示する。**

2 **希望のポインターが表示されるまで、[POINTER]キーを押す。**

● [POINTER]キーを押すたびに、ポインターの種類が順次切り換わります。

ポインターを消すには

[ESC]キーを押します。

投映画面の縦横比(アスペクト比)を切り替える

[ASPECT]キーを押すたびに、投映画面のアスペクト比が4:3と16:9の間で切り替わります。

メモ

● アスペクト比の切り替えは、入力ソースがVIDEOまたはコンポーネントの場合のみ可能です。
● 入力ソースがアスペクト比16:9のコンポーネント信号の場合は、投映時のアスペクト比は自動的に16:9に設定されます。この場合、本項目の設定は変更できません。
● アスペクト比の切り替えは設定メニューで行うこともできます。「画面設定メインメニュー内の項目」の「アスペクト比」(20ページ)を参照してください。

重要

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機能により画面の拡大や縮小を行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

エコモード(省電力設定)

「エコモード」を「オン」に設定することで、ランプの輝度を下げた省電力設定にすることができます。また、「エコモード」が「オン」のときは、放熱用のファンの回転数が下がるので、ファンの動作音はやや静かになります。動作音を低減するときは「オン」、高輝度で使用するときは「オフ」を選びます。

エコモードを切り替えるには

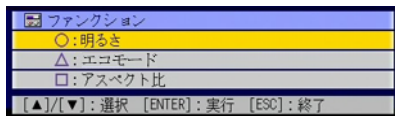
[ECO]キーを押すたびに、エコモードが「オン」と「オフ」の間で切り替わります。

メモ

(XJ-S36/XJ-S46をご使用の方へ)

USB端子に外部機器を接続しているときは、切り替えは設定メニュー(11ページ)を使って行ってください。

[FUNC]キーを使った操作

[FUNC]キーを押すと、次のメニュー画面が表示されます。

このメニュー画面から、次の操作を行うことができます。

- 「明るさ」を反転表示して[ENTER]を押す
  → [BRIGHT]キー(○キー)を押したときと同じです(5ページ)。
- 「エコモード」を反転表示して[ENTER]を押す
  → [ECO]キー(△キー)を押したときと同じです(9ページ)。
- 「アスペクト比」を反転表示して[ENTER]を押す
  → [ASPECT]キー(□キー)を押したときと同じです(8ページ)。

メモ

(XJ-S36/XJ-S46をご使用の方へ)

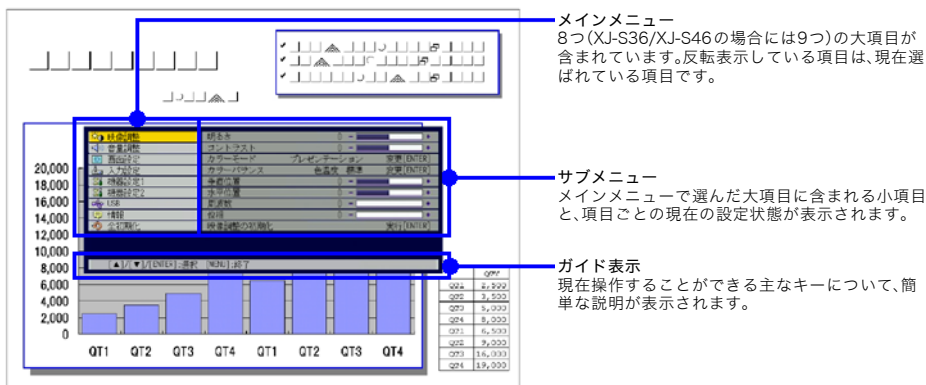
USB端子に外部USB機器を接続したときは、[FUNC]、[○]、[△]、[□]の各キーは接続した機器に応じた操作に使います。詳しくは付属のCD-ROMに収録されている「USB拡張機能ガイド」を参照してください。

本機の詳細設定

本機の詳細な設定を行うには「設定メニュー」を使います。

設定メニューの基本操作

設定メニューを表示する

[MENU]キーを押すと、投映画面の中央に設定メニューが表示されます。設定メニューは次のような構成となっています。

メモ

設定メニューの表示位置は、投映画面の中央または左上端のどちらかを選ぶことができます。詳しくは「機器設定1メインメニュー内の項目」の「メニュー位置」（23ページ）を参照してください。

設定メニューを消すには

[MENU]キーを押します。

設定メニューを使って設定を行う

1 **[MENU]キーを押して設定メニューを表示する。**

2 **[▼]または[▲]キーを押して、メインメニュー内の項目を選ぶ(反転表示させる)。**

3 **[ENTER]キーを押す。**

4 **[▼]または[▲]キーを押して、サブメニュー内の項目を選ぶ(反転表示させる)。**

5 **選んだサブメニュー項目に応じた操作を行う。**

- 設定の操作は、設定メニューの「ガイド表示」に従って行うことができます。

6 **サブメニューからメインメニューに戻るには、[ESC]キーを押す。**

7 **設定を終了するには(設定メニューを消すには)、[MENU]キーを押す。**

設定メニューの基本操作例

具体的な操作例として、映像調整→コントラスト、映像調整→カラーモード、機器設定1→エコモードの3項目の設定を続けて行います。

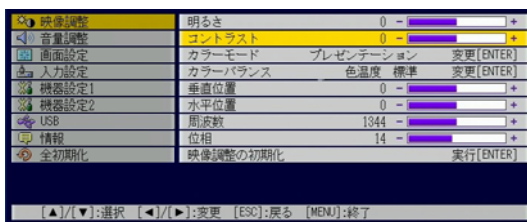
メモ

- 本機への入力信号が何もない状態では、設定メニューに含まれる一部の項目(例えば下記操作例の「コントラスト」や「カラーモード」)に対する設定操作はできません。入力ソースを選択して投映を行った状態で、設定メニューの操作を開始してください。
- ここでは設定メニューを使った操作のしかただけを説明し、設定内容については触れません。項目ごとの設定内容については「設定メニュー項目の内容詳細」(18ページ)を参照してください。

「映像調整→コントラスト」の設定を行うには

1 **[MENU]キーを押して設定メニューを表示する。**

2 **メインメニューの「映像調整」が選ばれているので、そのまま[ENTER]キーを押す。**

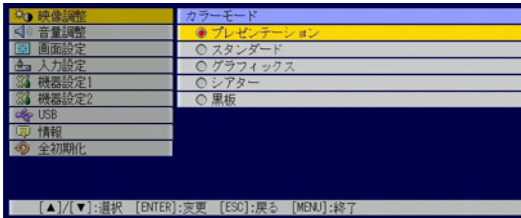
3 **[▼]キーを1回押して「コントラスト」を選ぶ。**

4 **[◀]または[▶]キーを押してコントラストを調節する。**

- [◀]を押すと投映中の映像のコントラストが弱く、[▶]を押すと強くなります。

「映像調整→カラーモード」の設定を行うには

5 **[▼]キーを1回押して「カラーモード」を選ぶ。**

6 **[ENTER]キーを押す。**

- カラーモードの選択肢が一覧表示されます。

7 **[▼]または[▲]キーを押して、選択肢の中から1つを選ぶ。**

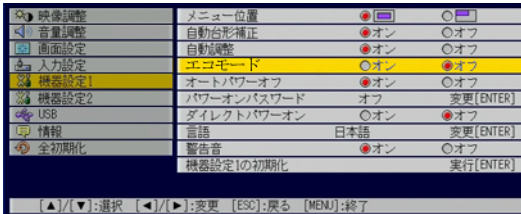
8 **カラーモードの設定を終了するには[ESC]を押す。**

「機器設定1→エコモード」の設定を行うには

9 **[ESC]キーを押す。**

10 **[▼]キーを4回押して、「機器設定1」を選ぶ。**

11 **[ENTER]キーを押す。**

12 **[▼]キーを3回押して、「エコモード」を選ぶ。**

13 **[◀]または[▶]キーを押して、「オン」または「オフ」のいずれかを選ぶ。**

14 **設定メニューの操作を終了するには、[MENU]キーを押す。**

パスワード機能の利用(パワーオンパスワードの設定)

本機は、本機の不正使用を防ぐためのパスワード機能を備えています。電源を入れたときにパスワードの入力を必要とするか、しないかの設定、およびパスワードの登録(変更)を行うことができます。これらの設定は、設定メニューの「機器設定1→パワーオンパスワード」で行います。

本機のパスワードについて

本機のパスワードは文字ではなく、リモコンキーの組み合わせ(特定のキーの入力順)です。工場出荷時は、あらかじめ下記のパスワード(8キー)が登録されています。

[INPUT][AUTO][BLANK][FREEZE][▲][▼][◀][▶]

パスワード機能のご利用にあたり

パスワード機能のご利用にあたっては、次のことにご注意ください。

- パスワード機能はプロジェクターの不正使用を防止する機能であり、盗難を防止する機能ではありません。あらかじめご了承ください。
- パスワード機能を使う時、初回は工場出荷時のパスワードを入力します。工場出荷時のパスワードは、なるべく早くご自分のパスワードに変更してください。
- パスワードはリモコンを操作して入力しますので、リモコンを紛失しないようにご注意ください。
- リモコンの電池がなくなるとパスワードの入力ができなくなります。リモコンの電池が消耗したら、早めにリモコンの電池を交換してください。

ご自分のパスワードを忘れてしまった場合には

万一、設定したパスワードを忘れてしまうと、本機が使用できなくなります。この場合、次の2点をカシオテクノ修理相談窓口にご持参の上、パスワードの解除をご依頼ください(所定の解除手数料を申し受けます)。

1. 身分証明書(社員証や運転免許証など、コピー可。)
2. プロジェクター本体

身分証明書･プロジェクター本体の2点がそろっていない場合、パスワードを解除することができません。あらかじめご了承ください。
なお、保証書も紛失しないように、大切に保管してください。

重要

ご依頼によりパスワードを解除した場合、ランプ使用時間を除き、各種の設定がすべて工場出荷時の状態に戻ります。

パスワード控えのおすすめ

設定したパスワードを忘れてしまうと、本機を使うことができなくなってしまいます。パスワードを忘れてしまった場合に備えて、メモなどにパスワードを控え大切に保管してください。

パスワードを変更するには

1 **[MENU]キーを押して設定メニューを表示する。**

2 **[▼]キーを押して「機器設定1」を選び、[ENTER]キーを押す。**

3 **[▼]キーを押して「パワーオンパスワード」を選び、[ENTER]キーを押す。**

- パスワードの入力を促すダイアログが表示されます。

4 **現在設定されているパスワードを入力する。**

- 工場出荷時のパスワードを変更していない場合は、次のキーの入力を行います。

[INPUT][AUTO][BLANK][FREEZE][▲][▼][◀][▶]

5 **[ENTER]キーを押す。**

- パワーオンパスワードの設定画面が表示されます。

6 **[▼]キーを押して「パスワード変更」を選び、[ENTER]キーを押す。**

- 新しいパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。

7 **新しいパスワードを8桁(8キー操作)以内で入力する。**

- パスワード設定用には、次のキーを使うことができます。
  [INPUT], [AUTO], [BLANK], [FREEZE], [COLOR MODE], [D-ZOOM＋], [D-ZOOM－], [KEYSTONE+], [KEYSTONE－], [MENU], [POINTER], [○], [△], [□], [▲], [▼], [◀], [▶], [FUNC]

8 **[ENTER]キーを押す。**

- 再びパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。

9 **手順7で入力したパスワードを再度入力し、[ENTER]キーを押す。**

- 「新しいパスワードが登録されました」というメッセージが表示されたら、パスワードの変更は完了しました。[ESC]キーを押してください。
- もしここで再入力したパスワードが、手順7で入力したパスワードと一致しない場合は、「パスワードが正しくありません。」というメッセージが表示されます。[ESC]キーを押して、手順7からやり直してください。

10 **設定メニューの操作を終了するには、[MENU]キーを押す。**

パスワード機能の有効(オン)・無効(オフ)を切り替えるには

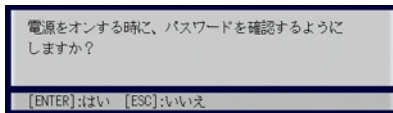
1 **「パスワードを変更するには」(14ページ)の手順1から手順5までの操作を行い、パワーオンパスワードの設定画面を表示する。**

- このとき、パワーオンパスワードの設定画面で「パワーオンパスワード」が選択されていることを確認してください。

2 **[◀]または[▶]キーを押して「オン」または「オフ」のいずれかを選ぶ。**

- 設定を「オフ」から「オン」に切り替えると、次のような確認ダイアログが表示されます。

電源をオンする時に、パスワードを確認するようにしますか?

[ENTER]:はい　[ESC]:いいえ

設定を「オン」に切り替えて、電源オン時のパスワード確認を行うようにする場合は[ENTER]キーを、設定を「オン」に切り替えるのをやめる場合は[ESC]キーを押します。

3 **設定メニューの操作を終了するには、[MENU]キーを押す。**

電源を入れたときのパスワード入力について

パスワード機能が有効な場合(パワーオンパスワードが「オン」に設定されている場合)は、本機の電源を入れたときに、投映画面上にパスワードの入力を促すダイアログが表示されます。現在設定されているパスワードを入力し、[ENTER]キーを押すと、本機のすべての操作が可能な状態となります。

メモ

パスワードの入力を促すダイアログが表示されている状態でも、投映サイズを調節する操作([ZOOM +]/[ZOOM −]キー)、焦点を合わせる操作([FOCUS ▲]/[FOCUS ▼]キー)、および電源を切る操作([⏻]キー)は可能です。

設定の初期化

設定メニューに含まれる各項目の設定値を、一括して初期化する(工場出荷時の状態に戻す)ことができます。

あるメインメニューに含まれる全項目の設定を初期化するには

1 **[MENU]キーを押して設定メニューを表示する。**

2 **[▼]キーまたは[▲]キーを押して、設定を初期化したいメインメニューを選ぶ。**

- 映像調整、音量調整、画面設定、入力設定、機器設定1、または機器設定2のいずれかを選んでください。

3 **[ENTER]キーを押す。**

4 **[▼]キーを押して「○○○○の初期化」(○○○○の部分は手順2で選択したメインメニュー名)を選ぶ。**

5 **[ENTER]キーを押す。**

- 初期化画面が表示されます(下の画面は「映像調整の初期化」の場合です)。

6 **[▲]キーを押して「はい」を選ぶ。**

7 **初期化を実行するには[ENTER]キーを押す。**

- 手順2で選んだメインメニューに含まれる全項目の設定が初期化されます。
- 初期化の実行をやめるには、[ENTER]キーを押さずに[ESC]キーを押します。

8 **設定メニューの操作を終了するには、[MENU]キーを押す。**

メモ

- 手順3で機器設定1を選んだ場合、言語の設定および変更したパスワードは初期化の対象とはなりません。
- 初期化される情報の範囲について詳しくは、「設定メニュー項目の内容詳細」(18ページ)に含まれる各設定項目の説明を参照してください。

設定メニューに含まれる全項目の設定を初期化するには

1 **[MENU]キーを押して設定メニューを表示する。**

2 **[▼]キーを押して「全初期化」を選び、[ENTER]キーを押す。**

- 全初期化画面が表示されます。

3 **[▲]キーを押して「はい」を選ぶ。**

4 **全初期化を実行するには[ENTER]キーを押す。**

- 「言語」、「ランプ使用時間」「パスワード」の3項目を除いた、設定メニュー内の全項目の設定が初期化されます。
- 初期化の実行をやめるには、[ENTER]キーを押さずに[ESC]キーを押します。

5 **設定メニューの操作を終了するには、[MENU]キーを押す。**

設定メニュー項目の内容詳細

設定メニューに含まれる各項目の内容を説明します。表中の各欄は、次の要領でお読みください。

設定項目名………サブメニューの項目名です。

入力………どの入力ソースを選択したときに有効な設定かを表します。「R」はRGB入力、「C」はコンポーネント入力、「V」はVIDEO入力、「U」はUSB入力（XJ-S36/XJ-S46のみ）です。「N」は入力信号がないときでも設定可能であることを表します。

設定単位………設定内容がどのように記憶されるかを表します。「ソース別」は、該当する設定項目の設定値が、入力ソース別に記憶されることを表します。例えば「映像調整→明るさ」の設定をRGB入力時に－1、VIDEO入力時に＋1にそれぞれ変更すると、RGB入力の明るさ設定として－1、VIDEO入力の明るさ設定として＋1が別々に記憶されます。「単一」は、入力ソースとは無関係にただ1つの設定値が記憶されることを表します。

解説………各設定項目の内容や選択肢の解説です。アスタリスク（*）が付いている選択肢は、初期設定を表しています。

映像調整メインメニュー内の項目

設定項目名	入力	設定単位	解説
明るさ	RCVU	ソース別	映像の明るさを調整します。設定値が大きいほど明るくなり、小さいほど暗くなります。
コントラスト	RCVU	ソース別	映像のコントラスト（色彩の強弱）を調整します。設定値が大きいほどコントラストが強くなり、小さいほど弱くなります。
シャープネス	V	ソース別	映像の輪郭の強さを調整します。設定値が大きいほど輪郭が強調されて映像がシャープになり、小さいほど輪郭がぼやけたソフトな感じになります。
色の濃さ	V	ソース別	映像の色の濃さを調整します。設定値が大きいほど色が濃くなり、小さいほど淡くなります。
色合い	V	ソース別	映像の色合いを調整します。設定値が大きいほど青味がかり、小さいほど赤味がかった映像となります。信号がNTSC・NTSC4.43の場合に設定できます。
カラーモード	RCVU	ソース別	投映する内容や環境に応じて、次の5種類のカラー設定の中から適したものを選ぶことができます。 **プレゼンテーション*:** 明るい場所での一般的なプレゼンテーションに適した設定です。入力ソースがRGBまたはUSBのときの初期設定です。 **スタンダード:** 色表現を重視したプレゼン用の設定です。 **グラフィックス:** 写真等が自然に見えるような設定です。 **シアター*:** 映画の暗い部分をすっきり見せる設定です。入力ソースがコンポーネントまたはVIDEOのときの初期設定です。 **黒板:** 黒板投映時に見やすくした設定です。

設定項目名	入力	設定単位	解説
カラー バランス	RCVU	ソース別	映像のカラーバランスを設定します。カラーバランスは、「色温度」を選ぶ方法と、赤、緑、青の「カラー」を個別に調整する方法のどちらか片方を使って設定可能です。 **色温度:** 白色の色味を調節する設定項目です。「低」を選ぶとと赤みがかった白色に、「高」を選ぶと青みがかった白色になります。「標準*」は両者の中間です。 **カラー:** 赤、緑、青の各色の強さを調整します。各色ごとの設定値の大きさが、色の強さを表します。
垂直位置	RCV	信号種別	投映範囲に対する入力ソース映像の垂直位置を調整します。
水平位置	RCV	信号種別	投映範囲に対する入力ソース映像の水平位置を調整します。
周波数	R	信号種別	入力ソースとしてRGB入力を選択している場合で、投映画面に縦帯が出る場合は、周波数が正しく設定されていません。このような場合に、本項目を手動で設定します。 **重要** 周波数の設定を行った結果、パソコンからの入力映像が表示できなくなった場合は、[AUTO]キーを押して映像の自動調整を行うと、表示できる場合があります。
位相	R	信号種別	入力ソースとしてRGB入力を選択している場合で、投映画面にちらつきが出る場合は、位相が正しく設定されていません。このような場合に、本項目を手動で設定します。
映像モード	V	ソース別	入力ソースとしてVIDEOを選択した場合に有効な設定項目です。動画に適した設定と、静止画に適した設定の間で切り替えることができます。 **標準モード*:** 動画を投影する場合に適しています。 **静止画モード:** 静止画を投影する場合に適しています。特に、デジタルカメラを本機のVIDEO端子に接続して静止画を投影する場合は、こちらの設定をご使用ください。
映像調整の 初期化	RCVU	ソース別	映像調整メインメニュー内のすべてのサブメニュー項目の設定を、初期状態に戻します。 ● 初期化を実行した場合は、実行時に選択されていた入力ソースに対する初期化となります。 ● 映像調整メインメニュー内の設定項目のうち、垂直位置、水平位置、周波数、位相の各項目については、現在選択されている入力ソース単位では初期化されません。初期化実行時に投映していた信号の種類(XGA/60Hz、SXGA/60Hzなど)に対する設定情報だけが初期設定に戻ります。

設定単位の「信号種別」について

上表の「設定単位」欄が「信号種別」となっている各設定項目の設定値は、入力ソース別ではなく、設定を行った際の入力信号の種類(XGA/60Hz、SXGA/60Hzなど)ごとに保持されます。ただし設定を保持できる量には限度があるため、上限を超えると一番古い設定から削除されます。

音量調整メインメニュー内の項目

設定項目名	入力	設定単位	解説
音量	RCV N	ソース別	本機のスピーカーから出力する音量を調節します。 ● 無信号時は、現在選択されている入力ソースに対する設定となります。
音量調整の初期化	RCV N	ソース別	音量設定を初期状態に戻します。 ● 初期化の実行は無信号時も可能です（無信号時は、選択されている入力ソースに対する初期化となります）。

画面設定メインメニュー内の項目

設定項目名	入力	設定単位	解説
台形補正	RCVUN	単一	投映画面の縦方向の台形歪みを補正します。
アスペクト比	CV	ソース別	投映画面のアスペクト比を、次のどちらかから選びます。 **4:3*:** 縦横比4:3（通常のテレビ画面の比率）で投映します。 **16:9:** 縦横比16:9（映画やハイビジョンなどの画面比率）で投映します。入力ソースが16:9を4:3にスクイーズ（圧縮）したビデオ映像である場合に選択すると、縦横比の正しい映像が投映されます。 **メモ** 入力ソースがアスペクト比16:9のコンポーネント信号の場合は、投映時のアスペクト比は自動的に16:9に設定されます。この場合、本項目の設定は変更できません。 **重要** 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機能により画面の拡大や縮小を行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
投映方法	RCVUN	単一	スクリーンの前面から投映するか、背面から投映するなどを設定します。 **フロント*:** スクリーンの正面から投映する場合に選択します。 **リア:** スクリーンの背面から投映する場合に選択します。「フロント」選択時に対して、映像の左右を反転して投映が行われます。
天吊投映	RCV N	単一	本機を天井から吊して設置するための設定項目です。 **オン:** 天吊り投映の場合はこちらを選択します。本機の底面側が上になるように、上下左右反転して投映が行われます。 **オフ*:** 机上に設置して投映する場合はこちらを選択します。本機の上面側が上になるように、投映が行われます。

設定項目名	入力	設定単位	解説
スタート画面	RCVUN	単一	本機の電源を入れたときに最初に投映される「スタート画面」を表示するか、しないかを設定します。 **ロゴ:** スタート時に本機に組み込まれたロゴ画面が投映されます。 **無し*:** スタート画面は投映されません。
無信号時画面	RCVUN	単一	本機への入力信号がない場合に投映される画面を設定します。 **ブルー*:** 青色の画面が投映されます。 **ブラック:** 黒色の画面が投映されます。 **ロゴ:** 本機に組み込まれたロゴ画面が投映されます。
ブランク時画面	RCVUN	単一	[BLANK] キーを押したときに投映される画面を選択します。 **ブルー:** 青色の画面が投映されます。 **ブラック*:** 黒色の画面が投映されます。 **ロゴ:** 本機に組み込まれたロゴ画面が投映されます。
画面設定の初期化	RCVUN	ソース別	画面設定メインメニュー内のすべてのサブメニュー項目の設定を、初期状態に戻します。 ● 無信号時に初期化を実行した場合は、実行時に選択されていた入力ソースに対する初期化となります。 ● 初期化の実行時に選択されていた入力ソースに対する設定が、初期化の対象となります。ただし、台形補正、投映方法、スタート画面、無信号時画面、ブランク時画面の各項目については、選択されていた入力ソースとは無関係に初期化されます。

入力設定メインメニュー内の項目

設定項目名	入力	設定単位	解説
RGB入力	RC　　N	単一	本機のRGB入力端子に入力する信号を手動で設定したいときに選択します。 **自動*:** RGB入力端子への入力信号を自動的に判別し、適切な入力方式が設定されます。 **RGB:** RGB入力端子とパソコンを接続する場合に選択します。接続について詳しくは、取扱説明書(基本編)の「パソコンとの接続」を参照してください。 **コンポーネント:** 別売品のコンポーネントビデオケーブル(YK-3)を使って、RGB入力端子とビデオ機器のコンポーネントビデオ出力端子を接続する場合に選択します。接続について詳しくは、取扱説明書(基本編)の「コンポーネントビデオ出力との接続」を参照してください。
ビデオ信号	V　N	単一	本機のAV端子に入力する信号を手動で設定したいときに選択します。 **自動*:** AV端子に接続されているビデオ機器からの入力信号を本機が自動的に判別し、適切なビデオ方式が設定されます。 **NTSC / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / PAL60 / SECAM:** それぞれ特定のビデオ方式を表しています。VIDEO入力に対して特定のビデオ方式を指定する場合に選択します。
信号名表示	RCVUN	単一	投映画面上に現在選択されている入力ソース名を表示するか、しないかを選択します。 **オン*:** 投映画面上に現在選択されている入力ソース名を表示します。 **オフ:** 投映画面上に入力ソース名を表示しません。
特別な信号の選択	R　　N	単一	本機に入力されたRGB信号の解像度がSXGA(1280×1024)またはSXGA+(1400×1050)のとき、本項目を設定してください。 **1280×1024:** パソコンからのRGB信号の解像度がSXGA(1280×1024)の場合に選択します。 **1400×1050*:** パソコンからのRGB信号の解像度がSXGA+(1400×1050)の場合に選択します。
入力設定の初期化	RCVUN	ソース別	入力設定メインメニュー内のすべてのサブメニュー項目の設定を、初期状態に戻します。 ● 無信号時に初期化を実行した場合は、実行時に選択されていた入力ソースに対する初期化となります。 ● 初期化の実行時に選択されていた入力ソースに対する設定が、初期化の対象となります。ただし、「信号名表示」については、選択されていた入力ソースとは無関係に初期化されます。

機器設定1メインメニュー内の項目

設定項目名	入力	設定単位	解説
メニュー位置	RCVUN	単一	設定メニューの表示位置を画面中央または画面左上端のいずれかから選びます。 [中央アイコン]*: 設定メニューを画面中央に表示します。 [左上アイコン]: 設定メニューを画面左上端に表示します。
自動台形補正	RCVUN	単一	本機の設置角度に応じた自動台形補正を行うか、行わないかを設定します。 **オン*:** 自動台形補正を行います。 **オフ:** 自動台形補正を行いません。
自動調整	R　　N	単一	RGB入力選択時の自動調整を実行するか、しないかを選択します。 **オン*:** 自動調整を実行します。 **オフ:** 自動調整を実行しません。
エコモード	RCVUN	単一	省電力の設定をします。 **オン:** ランプの輝度を下げ、省電力状態にします。放熱用のファンの回転数が下がるので、ファンの動作音はやや静かになります。 **オフ:** 輝度を優先した投映が行われます。
オートパワーオフ	RCVUN	単一	オートパワーオフ(取扱説明書(基本編)の「電源を切る」参照)の有効／無効を選択します。 **オン*:** オートパワーオフを有効にします。 **オフ:** オートパワーオフを無効にします。
パワーオンパスワード	RCVUN	単一	指定されたパスワードを入力するまでは、本機の操作を無効にすることができます。パワーオンパスワードの設定について詳しくは「パスワード機能の利用(パワーオンパスワードの設定)」(13ページ)を参照してください。
ダイレクトパワーオン	RCVUN	単一	ダイレクトパワーオン(取扱説明書(基本編)の「ダイレクトパワーオンについて」参照)の有効／無効を選択します。 **オン:** ダイレクトパワーオンを有効にします。 **オフ*:** ダイレクトパワーオンを無効にします。 **重要** ダイレクトパワーオンの設定が「オン」の場合には、オートパワーオフの設定内容にかかわらず、入力信号がない状態で約10分間操作しないと本機の電源は自動的に切れます。

設定項目名	入力	設定単位	解説
言語	RCVUN	単一	本機の投映画面上に表示されるメッセージや設定メニュー画面などの表示言語を、次の中から選択します。 英語／フランス語／ドイツ語／イタリア語／スペイン語／スウェーデン語／中国語(簡体字)／中国語(繁体字)／韓国語／日本語
機器設定1の初期化	RCVUN	単一	機器設定1メインメニュー内のすべてのサブメニュー項目の設定を、初期状態に戻します。 ● 無信号時に初期化を実行した場合は、実行時に選択されていた入力ソースに対する初期化となります。 ● 設定項目の「自動調整」は、入力ソースとしてRGB入力が選択されている場合に限り、初期化の対象となります。その他の各設定項目については、選択されている入力ソースとは無関係にすべて初期化されます。

機器設定2メインメニュー内の項目

設定項目名	入力	設定単位	解説
ズーム メモリー	RCVUN	単一	本機の電源投入時に、前回のズーム設定が自動的に再現されるように設定することができます。 **オン*:** 前回本機の電源を切った際のズーム設定状態が、電源を入れると自動的に再現されます。 **オフ:** 電源を入れると、前回本機の電源を切った際のズーム設定状態とは無関係に、「ズーム」画面のもっともwide側（最大の投映サイズ）に設定されます。
ポインター	RCVUN	単一	[POINTER]キーを押したときに最初に表示されるポインターの種類を、次の中から選択します。 矢印1*／矢印2／バー1／バー2／サークル1／サークル2／スポット1／スポット2
プラグアンド プレイ （XJ-S36/ XJ-S46のみ）	RCVUN	単一	プラグアンドプレイ※1の有効／無効を選択します。 **オン*:** 外部USB機器を接続したときに、入力ソースが自動的にその機器に切り替わります。 **オフ:** 外部USB機器を接続しても、入力ソースが自動的には切り替わりません。
USB音声出力 （XJ-S36/ XJ-S46のみ）	RCV　N	単一	USBメモリーに保存されている動画ファイル再生時の音声を本体のスピーカーから出力するか、ライン出力するかを指定します。 **スピーカー*:** 動画ファイルの再生音をスピーカーから出力します。 **ライン:** 動画ファイルの再生音を、AV端子から出力します。
機器設定2の 初期化	RCVUN	単一	機器設定2メインメニュー内のすべてのサブメニュー項目の設定を、初期状態に戻します。

※1 プラグアンドプレイは、XJ-S36/XJ-S46のUSB端子に外部USB機器を接続したときに、自動的に接続された機器に入力ソースを切り替えるかどうかを設定する項目です。プラグアンドプレイがオンの場合、オフの場合の動作について詳しくは、付属のCD-ROMに収録されている「USB拡張機能ガイド」を参照してください。

USB設定メインメニュー内の項目（XJ-S36/XJ-S46のみ）

USB設定メインメニューは、XJ-S36/XJ-S46のUSB端子に外部USB機器を接続した場合に限り有効となります。詳しくは、付属のCD-ROMに収録されている「USB拡張機能ガイド」を参照してください。

情報メインメニュー内の項目

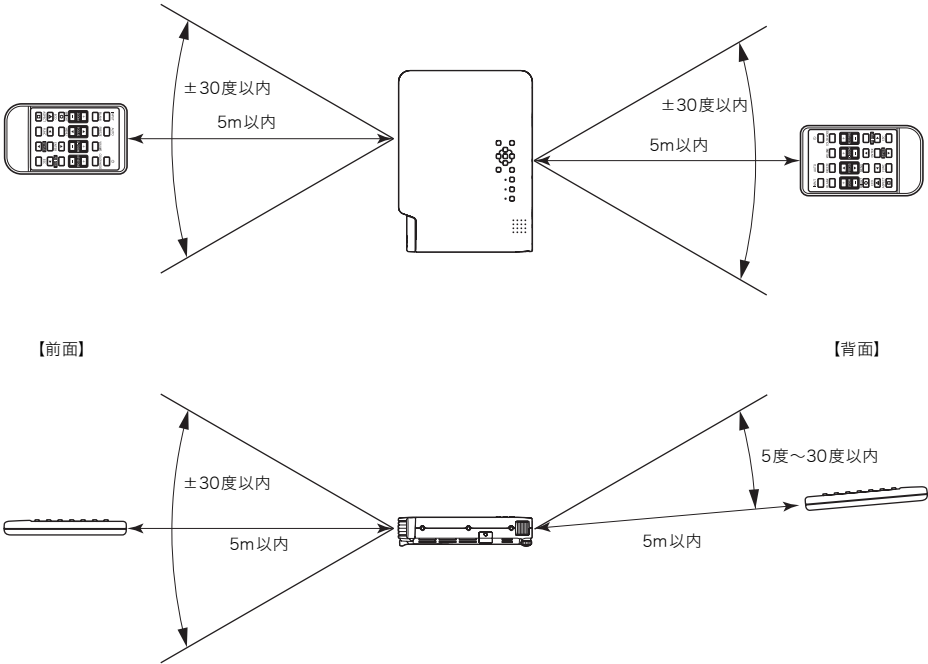
設定項目名	入力	設定単位	解説
ランプ使用時間	RCVUN	単一	現在のランプの使用累積時間が表示されます。表示されるランプ使用時間はランプ交換の目安となります。ランプの交換について詳しくは、取扱説明書（基本編）の「ランプの交換について」を参照してください。
ランプ使用時間の初期化	RCVUN	単一	ランプの交換後に、これまでのランプの使用累積時間を初期化します（0時間に設定します）。ランプの交換およびランプ使用時間の初期化の操作については、取扱説明書（基本編）の「ランプの交換について」を参照してください。
入力信号	RCVUN	ソース別	現在選択されている入力信号（RGB／コンポーネント／VIDEOのいずれか）が表示されます。また、入力信号がない場合は「----」と表示されます。
信号名	RCVU	ソース別	本機への入力信号の信号名が表示されます。表示される信号名については「表示可能な信号について」（30ページ）の「信号名」を参照してください。
インデックス	RC	ソース別	現在選択されている入力信号がRGBまたはコンポーネントの場合のみ表示される項目です。本機の内部的な情報が表示されます。
解像度	R	単一	現在選択されている入力信号がRGBの場合のみ表示される項目です。RGB入力信号の解像度が縦横のピクセル数で表示されます。
水平周波数	RCV	ソース別	入力信号の水平周波数が表示されます。
垂直周波数	RCV	ソース別	入力信号の垂直周波数が表示されます。
走査方式	RC	ソース別	現在選択されている入力信号がRGBまたはコンポーネントの場合のみ表示される項目で、入力信号の走査方式が表示されます。入力信号がRGBの場合はインターレース／ノンインターレースのいずれか、コンポーネントの場合はインターレース／プログレッシブのいずれかとなります。

全初期化メインメニュー内の項目

設定項目名	入力	設定単位	解説
全初期化	RCVUN	単一	設定メニュー内のすべてのサブメニュー設定を初期状態に戻します。入力ソースの選択状態、入力信号の有無に関わらず実行が可能です。全初期化の操作手順については、「設定メニューに含まれる全項目の設定を初期化するには」（17ページ）を参照してください。
ユニット使用時間	RCVUN	単一	現在の本機の使用累積時間が表示されます。この時間は初期化することはできません。

リモコンの利用可能範囲について

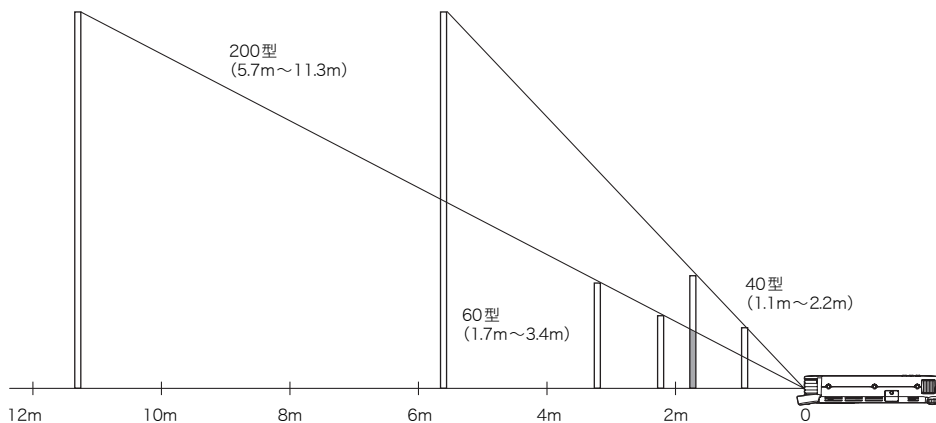
リモコンは、本体の前面／背面にあるリモコン受光部に向けて操作を行います。リモコンの利用可能範囲は下図の通りです。

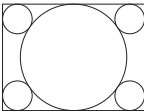
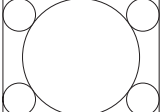
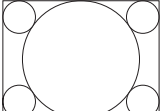
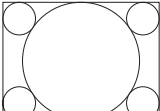
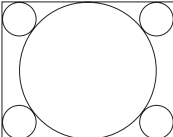
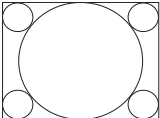
±30度以内
5m以内
±30度以内
5m以内
【前面】
【背面】
±30度以内
5m以内
5度～30度以内
5m以内

リモコンの利用可能範囲について

リモコンと本体の前面／背面にあるリモコン受光部との角度が広い(リモコンを斜めから使用した)場合は、リモコンの利用可能距離が短くなる場合があります。

重要

電池が消耗しますので、保管時はキーが押されないようにご注意ください。

投映距離とサイズについて

距離に応じた投映サイズは、下表の通りです。

投映サイズ		投映距離（約）	
型	対角線サイズ（cm）	最短距離（m）	最長距離（m）
40	102	1.1	2.2
60	152	1.7	3.4
80	203	2.3	4.5
100	254	2.8	5.6
150	381	4.3	8.5
200	508	5.7	11.3

重要

投映距離は設置の目安です。

RGB入力の映像の全画面表示について

本機の映像出力時のビデオ解像度はXGA（1024ピクセル×768ピクセル）です。本機と接続したパソコンからの入力信号がXGA以外の場合、パソコンからの入力画像は本機のビデオ解像度に合わせて自動的に拡大または縮小され、本機の投映画面の全体に表示されます。この機能を「全画面表示」と呼びます。パソコンから本機への入力信号に応じて、本機の投映画面は次のようになります。

入力信号例	本機の投映画面
800 × 600	
1024 × 768	
1280 × 1024	入力信号の解像度が1280×1024（アスペクト比5:4）の場合、投映画面の解像度1024×768（アスペクト比4:3）に合わせて元の映像が縮小されます。この結果、投映画面は元の映像よりも横方向が若干広がって見えます。

表示可能な信号について

RGB信号

	信号名	解像度	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
VESA	640 × 480/60	640 × 480	31.5	60
	640 × 480/72	640 × 480	37.9	73
	640 × 480/75	640 × 480	37.5	75
	640 × 480/85	640 × 480	43.3	85
	800 × 600/56	800 × 600	35.2	56
	800 × 600/60	800 × 600	37.9	60
	800 × 600/72	800 × 600	48.1	72
	800 × 600/75	800 × 600	46.9	75
	800 × 600/85	800 × 600	53.7	85
	1024 × 768/60	1024 × 768	48.4	60
	1024 × 768/70	1024 × 768	56.5	70
	1024 × 768/75	1024 × 768	60.0	75
	1024 × 768/85	1024 × 768	68.7	85
	1152 × 864/75	1152 × 864	67.5	75
	1280 × 960/60	1280 × 960	60.0	60
	1280 × 1024/60	1280 × 1024	64.0	60
その他	1400 × 1050/A	1400 × 1050	65.3	60
	1400 × 1050/B	1400 × 1050	64.0	60
	1152 × 864/70	1152 × 864	64.0	70

コンポーネント信号

	信号名	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
HDTV	1080i60	33.7	60
	720p60	45.0	60
SDTV	576p50	31.3	50
	576i50	16.6	50
	480p60	31.5	60
	480i60	15.7	60

ビデオ信号

信号名	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
NTSC	15.7	60
NTSC4.43	15.7	60
PAL	15.6	50
PAL-M	15.7	60
PAL-N	15.6	50
PAL60	15.7	60
SECAM	15.6	50

※ 上記の表に記載されていても、機種によっては、正しく表示されない場合があります。